



プラザホテルアベニューの花壇作り

八女農業校高等学校



八女市土橋四ツ角にあるプラザホテルアベニューの花壇をご存知ですか？この花壇は本校生活科学科3年生が生物活用の授業で作成しています。自分たちで種を播き、大切に育てた苗を植えています。一昨年春ホテルから花壇制作の依頼を受け、2年目を迎えます。最初、生徒たちは校外実習に出るため、挨拶する声にも緊張が見られましたが、地域の方々から「きれいだね」、「お疲れさま」という声をかけていただき達成感や充実感を味わっています。バス停を利用する方や、通行される方などに大変喜んでもらっています。4月にサルビア、ペチュニア、コリウスなどを植え、今は草花を楽しんでもらっています。11月には、冬・春の草花を植えます。今までは違う花壇の姿を楽しみにしてください。

9月のみらい館営業日 毎週火・金曜 10時30分～12時30分
3日、6日、10日、13日、17日、20日、24日、27日



八女市川犬 丸林 憲弘

中央公民館のはつらつ水墨画講座を受講して十年近くなりです。今では、水墨画は生活の一部となり、私の生き甲斐の一つとなっています。テレビの旅番組や新聞などで、素晴らしい風景や写真等に感動し、水墨画で墨の美しさ・濃淡の美しさを表わそうとしても、実態はまだ未だです。さらなる向上を目指したいものです。しかし、やる気をもって継続できるのは、樋口先生の的確な指導、助言はもちろん、仲間の個性あふれる素晴らしい作品に触れ、暖かい支援のお陰と感謝しています。

今月の一冊

それでも、日本人は「戦争」を選んだ

加藤 陽子 / 著
朝日出版社 / 刊
2010年 新潮社
第9回 小林秀雄賞受賞



これまで日本国民が希求してきた民主主義による社会は、戦後、GHQの草稿をもとに形づくられました。

日本国憲法の前文には、リンカーンが南北戦争のさなかに演説した有名な一節も、ほぼそのままの趣旨で受け継がれています。310万人ともいわれる戦死者の尊い代償として得られた新憲法は、国民との新たな契約として、令和の時代にも継承していく普遍的価値を有しています。

本書は、高校生向けの特別講義をベースに、敗戦への坂道を下った近現代の歴史的教訓から、今後、私たち主権者が重大な岐路に立つような場合、安易に戦争への道を選択しないための主体的な考え方が述べられています。

八女市立図書館係長 大島 真一郎

◆イベント案内 9月～10月前半◆

■おりなす八女 ☎ 0943-22-5332

- 9月1日 16:00 開演
おりなす八女室内合奏団 2019
- 9月29日
① 10:30～ ② 13:00～ ③ 15:30～
映画上映会「あの日のオルガン」
- 10月20日 15:00 開演
プラハ・チェロ・カルテット
- 10月24日 19:00 開演
前川清ファミリーコンサート

■九州芸文館 ☎ 0942-52-6435

- ～9月23日(祝) ※9月2日、9日、17日は休館日
「奇才 ダリの版画展」
- ～9月8日(日) ※9月2日休館日
「船小屋今昔物語」
- 9月7日、14日、21日、28日 毎週土曜
「芸文LIVE」18:30～19:30
- 9月7日(土)～9月8日(日)
「第2回筑後七国和菓子博」&「映画ショートショート」
- 9月21日(土)～9月23日(祝)
「くすのもりアート展」(仮称)

■筑後市立図書館 ☎ 0942-51-7200

- 9月16日～30日 蔵書点検のため休館
- 9月7日・14日 おはなし会

■ひろかわ町立図書館 ☎ 0943-32-1163

- 9月3日 14:00～ 読書への階段
- 9月14日 13:30
中・高・短大生バトラーによるビブリオバトル
- 9月7日・15日 11:00～ お話会

■九州国立博物館 ☎ 050-5542-8600

- (NTT ハローダイヤル)
- 更紗 生命の花咲く布 ～10月20日
- 文化財よ、永遠に 9月10日～11月4日
- 特別展 三国志 10月1日～1月5日



関羽・張飛像 張玉亭作 清時代・19世紀 天津博物館
曹操墓の出土品、海外初公開。
英雄たちの息吹き伝えるリアル三国志の世界へ。

クラッシー文芸

■黒木町くすの実句会

快晴の夏至の空あり憂き梅雨に
平凡を抜け出す旅へサンダラス
空梅雨の闇に人影動めけり
藤枕白髪の大野
夏草の繁る空家や傾きて
終はりたる今日のなりはひ冷し酒
水害の無人駅舎や雲の峰

■睦会

朝顔を抱き下校や夏休み
月見草ひらく夢二の歌と待つ
聞き流すことも処世や夏霞
後から見ても福耳さくらんぼ
掌に蜥蜴しかと放さぬ餓鬼大将
子を叱り子と笑ひ子とすいか食ふ
雨音の斯くもうれしき梅雨入かな

■紫苑句会

結界の柵に光るや蜘蛛の糸
夏がすみ耳納連山見事なり
河骨の湖訪ふ人や昼の黙
盆近き水門に古り水難碑
古畳足裏に絡む梅雨じめり

■立花短歌会

眼科医の受付名簿はカナ文字にならいてわが
名も太めに記す 井上 精
目の前の受験シーズン生徒等の希望突破をた
だ願いつつ 鶴 隆治郎
老いし身に白内障は進みいて手術はいかに迷
いの心 松尾ミサキ

キラキラと目にもあざやかふるさとの梅雨の
晴れ間の海の夕やけ 野中 裕政
老人の交通事故は目に余るわが身に迫る技能
の退化 橋本 泰州

白樺の並木をバスで通り抜けゆけば雲ひとつ
なき富士山五合目 中島 睦美

上からの目線でものを言うだけの目には目に
をの貿易戦争 田中たつじ

涙目に母と離るるおさな児はうつむきしまま
病院を出る 櫻木 敦子

悲しさも嬉しいときも驚きも心の様を目はも
の語る 鶴 邦子

孫五人十個の目玉に見られ入る整理整頓のに
がてな我を 樋口 愛子